

長い黒髪が風でゆれていた

そのまま、夕食も、皆と一人前に食べ、部屋に戻り、ルーズリーフに、英語の宿題を清書した。その後、下に降りたが、皆、それぞれ、こそこそ、音も立てず、ひっそりしていた。すぐ、上にもどり、英文解釈をやり出した。

大変、うっとおしい日だ。冬なのに、朝から雨が降っていた。午後、クラブ活動の時は、地面がジュクジュク。この頃、空気は温かい肌ざわりだが、また、夕方、シトシト。この頃、雪には、滅多にならない。

昔、小学校二、三年頃までは、よく、雪になる日があったと記憶するが。

そうだ、三時間目の体育の時間、体育館で、バスケットだったが、他のチームが試合している間、前川と議論していた。

課題は「人間より高等なものはない(前川)」

「いや、人間より高等なものはある。ただ、今の段階では、人間では、作れないだけだ(僕)」である。かなり、幼稚な議論だったかな。

僕は、鉄腕アトムのようなものを作れたらなあと思った。